

令和元年度琴浦町事業レビューアンケート

開催日 【1日目】令和元年10月12日(土) 【2日目】令和元年11月10日(日)

基礎情報

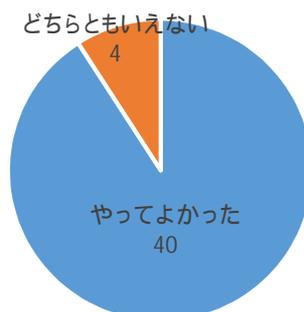
| 性別・年齢 | 回答数 |
|-----------|-----------|
| 女性 | 19 |
| 20代 | 1 |
| 40代 | 1 |
| 50代 | 5 |
| 60代 | 10 |
| 70代 | 1 |
| 無回答 | 1 |
| 男性 | 24 |
| 20代 | 3 |
| 30代 | 1 |
| 40代 | 1 |
| 50代 | 2 |
| 60代 | 12 |
| 70代 | 3 |
| 80代以上 | 2 |
| 無回答 | 1 |
| 60代 | 1 |
| 計 | 44 |

| 職業 | 回答数 |
|----------|-----------|
| 会社員 | 12 |
| 公務員 | 1 |
| 自営業 | 3 |
| 学生 | 3 |
| 主婦 | 5 |
| 無職 | 10 |
| その他 | 9 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 44 |

アンケート情報

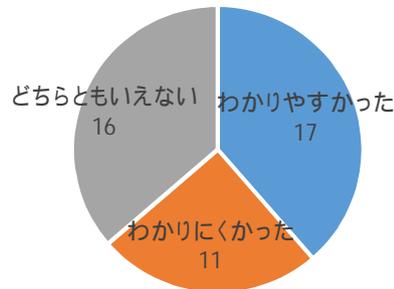
1. 町民評価員をやってみた感想はいかがでしたか？

| 回答 | 回答数 |
|-----------|-----------|
| やってよかった | 40 |
| どちらともいえない | 4 |
| 総計 | 44 |



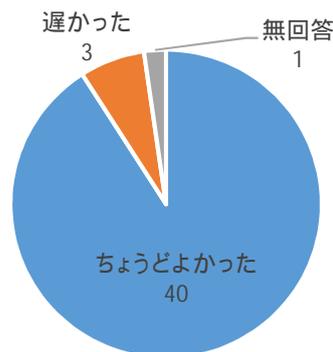
2. 説明資料(事業シート等)はわかりやすかったですか？

| 回答 | 回答数 |
|-----------|-----|
| わかりやすかった | 17 |
| わかりにくかった | 11 |
| どちらともいえない | 16 |
| 総計 | 44 |



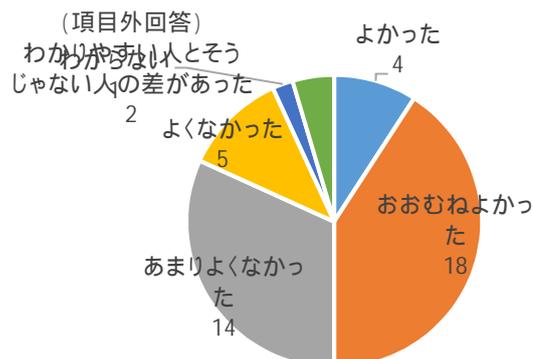
3. 資料の配布時期はいかがでしたか？

| 回答 | 回答数 |
|----------|-----|
| ちょうどよかった | 40 |
| 遅かった | 3 |
| 無回答 | 1 |
| 総計 | 44 |



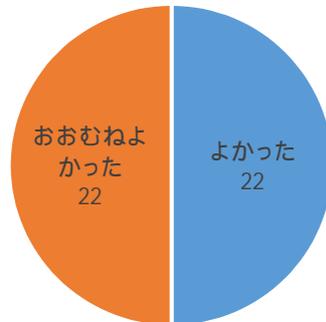
4. 説明者(琴浦町職員)の説明はいかがでしたか？

| 回答 | 回答数 |
|----------------------------------|-----|
| よかった | 4 |
| おおむねよかった | 18 |
| あまりよくなかった | 14 |
| よくなかった | 5 |
| わからない | 1 |
| (項目外回答) わかりやすい人とそうじゃない人の差があった | 2 |
| 総計 | 44 |



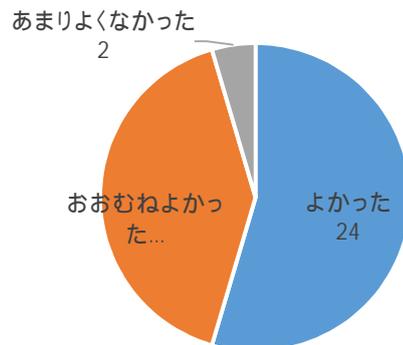
5. コーディネーターの進行はいかがでしたか？

| 回答 | 回答数 |
|-----------|-----------|
| よかった | 22 |
| おおむねよかった | 22 |
| 総計 | 44 |



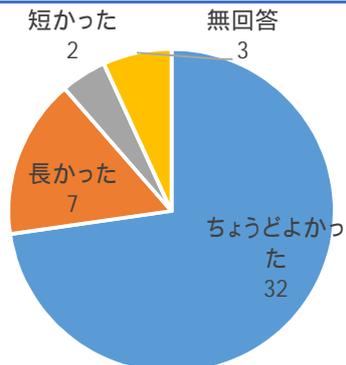
6. 審議員の質問はいかがでしたか？

| 回答 | 回答数 |
|-----------|-----------|
| よかった | 24 |
| おおむねよかった | 18 |
| あまりよくなかった | 2 |
| 総計 | 44 |



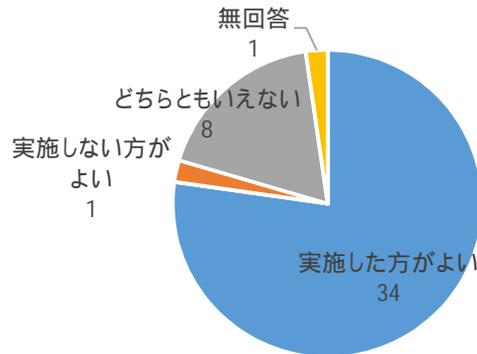
7. 時間配分はいかがでしたか？

| 回答 | 回答数 |
|-----------|-----------|
| ちょうどよかった | 32 |
| 長かった | 7 |
| 短かった | 2 |
| 無回答 | 3 |
| 総計 | 44 |



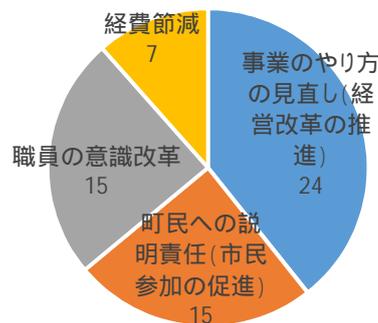
8. 今後も継続して事業レビューを実施した方が良いと思われませんか？

| 回答 | 回答数 |
|-----------|-----------|
| 実施した方がよい | 34 |
| 実施しない方がよい | 1 |
| どちらともいえない | 8 |
| 無回答 | 1 |
| 総計 | 44 |



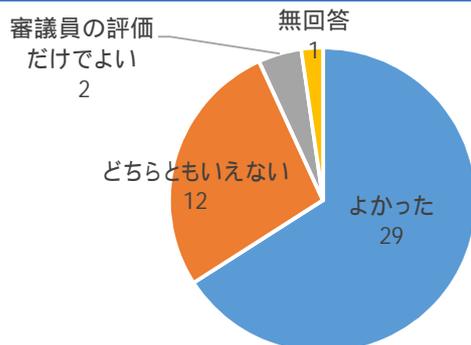
9. 今回のような事業の評価に何を期待しますか？(複数回答可)

| 回答 | 回答数 |
|---------------------|-----|
| 事業のやり方の見直し(経営改革の推進) | 24 |
| 町民への説明責任(市民参加の促進) | 15 |
| 職員の意識改革 | 15 |
| 経費節減 | 7 |



10. 今回の事業レビューの「判定人方式」はいかがでしたか？

| 回答 | 回答数 |
|-------------|-----------|
| よかった | 29 |
| どちらともいえない | 12 |
| 審議員の評価だけでよい | 2 |
| 無回答 | 1 |
| 総計 | 44 |



市民判定人方式とは
住民基本台帳などから無作為に選ばれた住民(町民評価者)が、対象となる事業のあり方について、外部専門家(審議員)と事業の担当者(町職員)等の議論を聞き、一定の評価をする方式。

11. なぜ町民評価員に応募されましたか？

回答

どんな事をするのか興味があったし、知りたいと思ったから。
家族がまず参加し、今回、自分に通知があったため
関心があったから。
琴浦町がより良いまちにするため。
町の経費の節減
琴浦町が寂しいから。
私達の税金の使い方と、どういう事業をしているのか知りたかった。
事業レビューの手法、行方に興味を持った。
知らないとい何も始まらないから。
地域の一人として、少しでも地域の実情を知り、地域のことに、自分なりのかたちで、あるいは自分にもできる範囲で、関わっていく必要があると感じており、今回の評価員はその良い機会だと考えたから。
町が「どうあるべきか」から考えていきたい。
町に見直しの検討をしてもらいたいから。
町の運営や行事など、知らない事を勉強するため。
町の事業の説明を聞く良い機会になると思ったから。
町行政のあり方について、抜本的改革が必要だと思ったから。
町職員の説明の仕方、内容・結果の把握を見てみたかった。
町政への関心があったが、今まで参加できていなかったから。
町政を世入事のように感じているが、そのよりの機云があり、少しちんてんしのみよし心
町民として、町のことを知りたいと思ったから。
町民評価者による評価が、町の事業に少しでも活用いただけると考えたから。
町政に関心があるから。
町政のより詳細内容を知りたいから。
空家が増え、空地が荒れ、学校も荒れ、駅前もさびれ、人気(ひとけ)も無く、町が死につつあると日々感じているから。
町政、税金の使い方について勉強したかったため。
もっと町政にかかわりたい気持ちが強まったため。
疑問に思っていることが多々あって、審議員さんのつっこみで晴れた部分もありました。
行政の現状を知りたいから。
審議員の質問の観点を参考にしたいから。
大学での学びの一環として
研究室の教授からの勧めがあったため。
数年前に転居してきたが、自分の住む町に対して関心が全くなかった。あまりに無責任すぎると反省した。ただ、昨年も通知をいただき、やや不自然だと思った。
声がかかったから。
自分自身も補助金のお世話になった事があるから。
基本的には評価していなかったが、中身を知らないままではダメだと思い応募しました。
行政に今までは無関心であったが、良い機会だと思ったから。
無作為抽出し、その中に入ったから。出席して欲しいという連絡があったからそれに応えた。

12. 今回の事業レビューで特に関心を持った事業はどれですか

回答とその理由

地区公民館事業

のびしろがすごくある事業だから。

よくわからない場所であった。他の地域から転居してきたが、全く開かれた感じがしなかった。また、お金の流れが全くわからなかった。

一番住民に近いはずの公民館事業だが、実は事業主体の役場の担当者が理解していないことがわかった。

審議員からの意見は有意義だった。

各公民館に配置されている職員の業務内容が不明。

もっと町が統一したテーマ、事業の取り組みについて関わる必要がある。(地域代表との公民館のあり方について考える。

社会教育法による公民館運営は、人口減少・少子高齢化時代には合わなくなっている。住民が地域課題を自ら解決する拠点に変貌させ、問題解決の最前線にすべき。公共交通弱者対策も、この場で解決していくことが可能だと考えます。

審議員の「税金を使って趣味の応援をしなくてはならないのか。」という発言について、もっともだ!と思った。昔から していた、のではなく、改革して欲しい。

身近な事業だから。

生活の中で一番身近な問題であるので、より深く知るきっかけになりました。

担当課の説明が下手であれば、事業そのものが不用と思えてくる。これは間違いです。

地域(山間部だけでなく)が弱体化していく中で、どのように盛り上げていくか、大変重要な課題だから。

私達の生きていく生命力は、地域・家庭から生まれるから。

地域に無力感がただよっている感じがします。これを打破し、地域に元気を取り戻すには、公民館が核となって、地域がまとまり、課題解決にあたっていこうという勢い、姿勢の回復が必要だと思います。その公民館の行方に関するテーマだったので、関心がありました。

地区の運動会は、毎年でなくても、2年に1回ぐらいに回数を減らしてもいいと思う。

町がやっていくのではなく、委託など、どんどん利用した方がいい。

無回答

地区公民館の運営の合理化(センター化)

各公民館のサービスのあり方

空き家も増えているのに流れに沿えば良い

公民館のことは、一番町民の小さな声ではないでしょうか。

公民館は、社会教育事業だと知ってびっくりしました。

地区公民館の事業はとても素晴らしい。公民館事業があって、人が集まり、体を動かす。それによって健康が維持され、医療費も安く済んでいる。だからこそ素晴らしい。そんな意見が聞けるかと思っていたのですが、今後がとても心配です。

交通費助成制度

一部の方に助成される事が疑問。

琴浦町に課が増えたが、そのせいか、重なっている助成が多いと感じた。

今現在困っている事が多い分野だから。

地域おこし協力隊活動事業

参考にして、部落(地域)でやってみたい。

事業内容を詳しく知らなかったから。

隊員の事業内容の確立ができていない。いついつはちゃんが必要。今用町し必要はどの
は何か?

白鳳祭

設立当初は、町活性化として「何かをしよう」という発想から出発したはずだが、今ではただのイベントとしか思えない。

町の特徴をPRすることは、「祭」でなくても良いはず。(他にも活性化の取り組みはあるは楽しそうで、自分も参加してみたいと思ったのと、自分の愛する土地の祭りに参加したいし、できれば運営側にも絡みたいと思った。

社会福祉協議会運営費補助金

福祉事業の詳細を把握したい。

自分の家族が大変お世話になったが、その組織を理解できていなかった。補助金については初めて知った。また、私が事業レビューを誤って理解して、トンチンカンな回答をしたと福祉切り捨てはダメ、という思いです。民間が赤字でやめても、やらないといけぬものは町・社協でやる。

社協へは一律1,000円の負担金を強いられていて、その使い道について深く知らなかったから。社会福祉センターも、とても有効利用されているように思っていなかったから。
 地域福祉の推進にあたって、町当局とのすり合わせ、介護事業推進にあたっての民間業者との競合等について
 現職で協議会と関わる人が多いので。

観光情報発信業務

若い世代が胸躍らせるようなスポットはないです。
 「時間」を買っていただく工夫があればいいと思います。
 観光情報発信という効果の把握が難しい事案であるのに対して、ぼんやりとした委託金の内容や効果検証の不十分さが見えたから。

全て

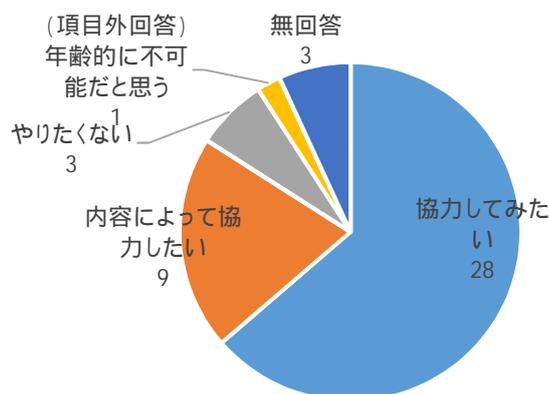
事業の内容について誤解をしていた部分の発見もありましたし、私ならこうしたい、という部分もあったり、とても勉強になりました。

シルバー人材センター運営費補助金

雇用や需要の流れがここからまた変化していくと予想されるので、より運営に注視すべきものだと感じた。
 定年が近づき身近に感じてきているので。

13. 今後、事業レビュー以外で、町の無作為抽出により選ばれた場合は、ご協力いただけますか？

| 回答 | 回答数 |
|---------------------|-----------|
| 協力してみたい | 28 |
| 内容によって協力したい | 9 |
| やりたくない | 3 |
| (項目外回答) 年齢的に不可能だと思う | 1 |
| 無回答 | 3 |
| 総計 | 44 |



14. その他、今回の事業レビューや琴浦町の行政改革の推進について、ご意見・ご感想がありましたらご記入ください。

回答

1つ1つの結果を調べないと、なかなか話し合いにならない。

20年後、交通手段も無くなったら、自給自足かな。年金生活では、病院、買物も大変になります。元気でいたいものです。

いろいろながらみがあって行動にできない様子がみえます。難しそうです。でも動いて欲しいと思います。

現状を変えることが難しそうだなあと感じました。とりあえず検討、様子を見る...とやっている、進まないと思う。

役場の方も慣れていない所もあって、言い切れていない、伝えきれていない事が多いんじゃないかと思いました。口で負けているというか...。もったいない部分もあるのでは？

私達の意見が言えるように変えてくださったのはよかったです。

今回のことをふまえて、町はスピード感をもって仕事にあたってください。事業の意義や効果をしっかり考えながら仕事をする事は、大前提です。頑張ってください。

今回の審議員の意見は一般論に基づく意見が多く、町の事業レビューに効果があるのか疑問に思った。審議員の選任が重要である。

事業シートの記載が不十分で、判断がしづらい。

今後も継続して事業レビューを実施して欲しい。

今までどおり無作為で抽出で行って欲しい

参加してみて、改めて、町ではいろいろな取り組みをされているんだなあと感じました。町レベルにとどまらず、各部落でも、自然に、差し迫った地域の実情について、「皆で話し合おう」という雰囲気が出てくるようにしたいなあと思いました。

不勉強を痛感しました。自分の勉強にはなりましたが、評価員としての役割は十分に果たし得てないなあと反省しました。

事業にスピード感がないのは、行政の風通しが悪いからでは？

事業レビューの判定たりをどうして政策判断してはいいない。寺川家の息元で尋ねてみていい
社会教育課は法律の事等を言っていたが、聞いている方は、見る資料にも載っていないので、さっぱりわからなかった。審議員の質問の答えとして合っていない。もっとわかる職員が説明してほしいのでは。

レビューをしたなら、本当に見直しをするのですか。審議員が言っていた通り、早急に見直しして欲しい。議論を反映して欲しい。

若くても優秀なスタッフさんに責任者になってもらい、柔軟な頭で事業を行ってほしい。

審議員の選定？良い人も悪い人もいていいのか？

全体を見る事で、見える姿の必要性を感じました。外部講師のてきぱきとした指摘に、身がひきまされる思いでした。今後の参考にさせていただきます。ありがとうございました。

共に支えあう町づくり、夢ではない。手段として考える必要を感じました。

町民の為にいろいろと努力してほしい。

良かったと思います。審議員の方々が言われたように、税金の使い方をしっかり考える事ができました。

中学生、高校生等、学生さんにも是非この場で一緒に話を聞いたり、考えたりできればと思い行政の横の連携が必要だとつくづく感じた。

課長の説明に具体的なものがない。

福嶋審議員の「つつこみ」で、町職員の甘さがはっきりしてきた。(どうあるべきか？どうしたいのか？データ調査は？など、不足すぎる)今後期待しています。

配布された資料の内容がひどすぎる。判定するにあたり、困惑する。斎場管理の資料は、もっとわかりやすく数値を出して欲しい。

役場職員の勉強不足が多くみられた。(審議員の質問に答えられていない)

今、この事業について、「あれは中止になるで」、「予算がカットされる」とか、色々と話が出ています。良いかどうかは別にして、皆が町政に関心を示していることの表れであり、大変良い刺激を与えていると思います。

小、中学生の意見、考えも取り入れた方がいいかなと思います。子供の視点、発想は鋭いと思います。学活等の時間で、「明るい町づくり」について皆でディスカッションしたりできたら楽しいの

評価シート記入の時間を頂きたい。頭の整理、考え方、見方が不十分なまま記入してしまっている。

評価には無責任な面もある。今後の方向性を考える場合、どうしても保守的な考え方に傾きがちになる。

事業ごとに設立の意味や、目的があったはずだが、肥大化して今回のレビューとなったのでは自分たちがではなく、民間人に添った考え方ならどうかと一事業ごとに胸に手を当てて、考えながら行っていってもらいたい。

琴浦のことが好きな方に仕事をしてもらいたい。

プラス思考の方をトップにすえて実施して欲しい。

事業シートに加え、パワーポイントなどのスライドもあれば分かりやすいのではないかと思う。

事業についての理解が前提で、そこから意味のある議論になると思う。

今回のレビューが一時の盛りとなることなく、今後の役所の機動力がメインとして事業改善が行われることを期待します。

町の関係者が町民評価員として参加されていた。選ばれたとしても辞退すべきと思いました。

住民でありながら、知らない事が多いことに気がつけました。ありがとうございました。

介護保険を使う時の世帯収入についての考え方ですが、同居でも世帯を別にすれば負担する費用が少なくてすむと、役場の職員が言われたと聞いております。同居家族が高収入でもそのような考え方はどうでしょうか？

補助するにあたって、町当局と受ける側の団体との話し合いが少ないと思った。

町当局の指導性があまり感じられない。
